

# 説明会当日の状況

## (1) 説明会参加者数とアンケート回答数

	参加者数 (人)	アンケート 回答数(件)
会場	19	16
オンライン	20	12
計	39	28



- ・ 当日の次第と会場の様子

### 次第

1. 中原区ソーシャルデザインセンター  
創出に向けた説明 (30分程度)
2. 質疑
3. 今後について
4. 意見交換



# 説明会当日の状況

## (2) 当日の意見・質問

参加者の意見
地域活動に取り組んでいる人とそうでない人に隔たりがあると感じている。こうした中、普通の人々が普通に参加できて、団体とかの条件もないというのが、とても参加しやすいと思うし、そのゆるさがよいなと思った。

	参加者の質問	回答
①	今日がキックオフということであるが、今後どういうスケジュールで検討するのかを教えてください。	8月から意見交換会を開催したいと考えており、基本的には年内で検討内容をまとめ、小さなことからよいので、令和4年4月から何か始められたらよいと考えています。ただこのスケジュールはあくまで目安として、みなさんの協力をいただきながら進めていきたいと考えています。
②	他の地域ではどんなソーシャルデザインセンターの取組がなされているか。参考になる事例などはあるか。	各区でソーシャルデザインセンターの検討が進められており、2つの区では、既に具体的な形になっています。 <ul style="list-style-type: none"><li>・多摩区では、実際に運営する団体を作り、多摩区役所の一角をその団体が借りて、ソーシャルデザインセンターという場所を作り、取組を行っています。</li><li>・幸区では、鹿島田駅前にコミュニティカフェを運営している団体に委託をして、そこをソーシャルデザインセンターとして運用しています。</li></ul>

# 説明会当日の状況

## (2) 当日の意見・質問

	参加者からの質問	職員からの回答
③	市民創発をしようということ を誰が言っているのか、とい うこととその動機を教えてほ しい。	市民創発については、これからのコミュニティ施策の 基本的考え方の中で言及しており、川崎市としては、 市民創発という形で、地域の皆さんのアイデアを元に コミュニティ施策を進めていきたいと考えています。
④	行政からの打ち出しによるま ちづくりではなくて、市民か ら出て来る意見を元にして、 まちづくりを推進していくこ とを川崎市が促しているとい う理解で正しいか。	その通りです。地域の皆さんのアイデアを元にして、 川崎市としても支援をしながらコミュニティを通じ、 推進して行きたいと考えています。

# 説明会当日の状況

## (3) アンケート集計結果

Q 1. 説明を聞いてソーシャルデザインセンターを創出する目的は理解できましたか

	回答数(件)
①よくわかった	10
②少しわかった	15
③あまりわからなかった	3
④全くわからなかった	0

# 説明会当日の状況

## (3) アンケート集計結果

Q2. ソーシャルデザインセンターの機能で特に重要だと思うものはどれですか（複数回答可）

	回答数(件)
①地域コーディネート機能とプロデュース機能	10
②支援のニーズとメニューのマッチング	9
③地域課題の解決を目指した社会実験の展開	13
④助言や技術的支援、課題提起等を行う機能	2
⑤人材育成（地域の担い手や社会的起業家など）	6
⑥「まちのひろば」への支援	2
⑦地域メディアやソーシャルメディアを活用した情報の受発信	7
⑧新たな参加、交流のきっかけづくり	16
⑨各区の特性に応じて必要とされる機能	3

⇒ きっかけづくりや連携強化（コーディネートやマッチングなど）、取組の実践への関心が高い。一方で、人材育成や助言、技術的支援など地域の活動に間接的に関わる機能については重要と考える回答が少ない結果となった。

# 説明会当日の状況

## (3) アンケート集計結果

Q 3. 説明の中で印象に残った内容がありましたか (複数回答可)

	回答数(件)
①日本で生じている環境の変化	1
②つながりの必要性	12
③これからのコミュニティ施策の基本的考え方	8
④まちのひろば	4
⑤ソーシャルデザインセンター	6
⑥デッサンの内容	1
⑦しもぬまべ共創プロジェクト	7
⑧その他	0

⇒ コミュニティ施策の前提となるつながりの必要性や市の施策自体、また地域の取組事例が印象に残ったとの結果となった。

# 説明会当日の状況

## (3) アンケート集計結果

Q4. ソーシャルデザインセンターを創出する上で大事にしたいことや「ちょっといいね」、「もっといいね」のアイデア、その他気付いたことなど何でも記入してください

分類	意見
ソーシャルデザインセンターの運営についての意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・ SDCのビジョンをまとめるところからはじめることはわかるが、それを<u>ファシリテーションする人？</u>が必要ではないか。多様なレンジの意見を。</li><li>・ 市民主導での「まちづくり」が必要だとするとまず動き出せる人々でなるべく早く活動が見えるようにする必要がありそうですね。 <u>スモールSDCの象徴的な事例づくりが重要かも</u></li><li>・ <u>様々な年代の方が集まれる場</u>にしてもらえたらと思います。</li><li>・ 個人の人、いろいろな人が参加できること。 <u>基本的に、こばまない。</u></li><li>・ プロや業者が入ってくると一般人はショボンてなります。そういう人も <u>1個人として参加してほしいな。</u> 中原区以外の人も多いけどそのへんはどうなるのかな？ <u>区民優先で、区外の人</u>の参加理由を知りたい。</li><li>・ 公民館（会館）の施設利用が営利／非営利で貸し出して頂けるへやや料金が違います。 <u>市民区民に広く開かれた多様な人達が交流できる場づくりをのぞみます。</u></li><li>・ 活動する人に加えて、 <u>応援する人も大切にしたい。</u></li><li>・ <u>コワーキングスペース</u>があると良いと思った。</li><li>・ HP等 <u>どのようにして広めるかも大切だ</u>と思った。</li></ul>

# 説明会当日の状況

分類	意見
ソーシャルデザインセンターの運営についての意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・ <u>失敗しても良いファーストステップの機会を作る。</u> ちょっといいことの実行ファーストステップをいかにトライしやすくするか、そのハードルをいかに下げられるか？その点が重要だと感じた。</li><li>・ <u>自由参加でも企画と広報が必要だ</u>と思う。今後の相談の中でどうするか？ <u>誰がそれをするか単に参加するだけなら楽で良い</u>と思うが？</li><li>・ <u>こぼれる人がないよう、少しでも興味を持ってくれた人をフォロー。</u></li><li>・ <u>ソーシャルデザインセンターで、つながりを活性化するためには、常にだれかがいることが重要で、そのためには、お茶や軽食が取れるというのがとても必要な要素ではないか</u>と思いました。今日はいろんな世代の人と少しだけ挨拶できて楽しかったです。</li><li>・ <u>住民はもちろん大事ですが、住民だけではなく、地元企業や商店街、商業施設、町会等々、様々な組織が地域を形作っている</u>ので、その意見交換の場としてSDCが機能することが重要なのではと思いました。</li><li>・ <u>市民主体の、という所はとてもよいな</u>と思いました。 <u>もっと一般の市民の方を巻き込むには、情報発信や人の募集方法を考えればいいな</u>と思います。 <u>まずは参加者自身が楽しめる面白いことを中心にやっていけば自然と人が集まってくるかなー</u>と思っています。 <u>自分の住んでいる街なので、楽しく遊びながら地域に貢献できることを進められたら</u>なと思います。</li><li>・ <u>市民の皆様が集まって実施される色々な活動がどのようなことに繋がっていくのか、その活動の中で集められた声をどう街の良さ・改善に繋げていくのか(施策部分)も大事</u>にしていきたい。</li><li>・ <u>参加するメンバーのモチベーションの形成や維持が非常に大事</u>であると感じました。また、チームでプロジェクトを進める場合は、 <u>他のメンバーのモチベーションの源泉を深く知っていくことも大事</u>であると感じました。</li><li>・ <u>自由な雰囲気作り。自然なリーダーシップ。</u> 他地区での事例紹介。</li></ul>



# 説明会当日の状況

分類	意見
事業の案	<ul style="list-style-type: none"><li>・ パソコン操作を教えあう（お年寄りへのサポート）</li><li>・ 各人が独立して創意工夫し、他のメンバーはそれを後押しする（ネガティブチェックばかりしない）</li><li>・ 多摩川でのBBQを否定せず管理する、街路樹や公園の落ち葉の肥料化</li><li>・ 高校生や大学生が政治参加し、地域が変わっていく様を実体験するサポート</li></ul>
説明会の感想	<ul style="list-style-type: none"><li>・ まだぼんやりとした感じです。今後皆さんと交流を持っていく中で具体的にやってみたい事、やれそうな事が見えて来るかと思います。</li><li>・ 正直よくわからなかったというのが感想です。</li><li>・ 私自身、なかはらPRというメディアを運営しているので、何らかの形でSDCにも関わって行けたらと考えている。</li><li>・ 既存の団体が活動幅を広げられることはもちろん、今活動をしていないけれど想いを持っている人が、イベントや活動をできると、すごくいいなと感じました。武蔵小杉のエリアを歩かせていただいたとき、タワーマンションのエリアでも昼の人通りが少ない場所があるように感じていて、そういった場所に昼の賑わいが生まれると、個人的には好き街だなと思っていました。</li><li>・ 小学生の僕にとっては難しい話もありましたが、地域に貢献できるように頑張ります。</li><li>・ コミュニティの繋がりの強さが排他的な環境を生むことも考えられます。ゆるい繋がりが広がるようなオープンな場所、集まり、内容のコミュニティが創発できるといいなと思いました。</li></ul>

# 説明会当日の状況

## (4) 希望の10年後(あいさつカードより)

### 10年後の「中原区」は…

- ・緑ゆたかなまちだったら
- ・区民が皆顔見知りだったら
- ・元気で、楽しく暮らせる街だったら
- ・色々な事をしている人が、好きな事、得意な事を持ち寄って、住みよくてきれいで楽しい場所になっていたら
- ・高齢者も障害者も自由に楽しくらせる町だったら
- ・みんながニコニコあいさつする街だったら
- ・気軽に人や情報にアクセスして楽しめる場だったら
- ・誰もが街づくりに関与できる街だったら
- ・よりインクルーシブだったら
- ・気軽に声をかける人が多くなれば

いいな



### 10年後の「私」は…

- ・生きているかな！！
- ・健康で、旅行もいっぱいできるようだったら
- ・経営者だったら

いいな